

平成 30 年度事業計画

I 事業計画策定の趣旨

少子高齢化社会が進むなか、桐生市においても総人口の減少、65歳以上の人口増加が続き、高齢化率は34%を超えました。

一方、生産年齢人口の減少に伴い、経験豊富な高齢者が引き続き地域社会の担い手として活躍していくことが、これまで以上に重要となっております。

このような状況をふまえ、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現に向けて、桐生市シルバー人材センターとして積極的な事業展開を行っていかなくてはなりません。

平成30年度は第2次中長期事業計画の最終年次として、引き続き基本的課題に沿った施策を実施してまいります。

基本的課題

- (1) 就業を希望する高齢者の積極的な受け入れ
- (2) 就業機会の確保並びに公平な就業機会の提供
- (3) 高齢者が健康で楽しく社会参加するための支援

II 計画の目標（派遣事業を含む）

会員数	600人
契約金額	236,000千円
就業延べ人員	48,850人日

III 基本方針

- 1 会員の増強並びに就業機会の拡大
- 2 安全・適正就業の推進
- 3 会員資質の向上
- 4 会員の親睦及び地域貢献
- 5 経営基盤の強化
- 6 第3次中長期事業計画の策定

IV 事業の実践施策

- 1 会員の増強並びに就業機会の拡大
【会員の増強】

① 新規会員の入会促進

入会説明会において、請負事業・派遣事業における具体的な就業内容や現在の受注における募集状況の説明を行い、入会を促進します。

また、各業務担当者との面談を速やかに行うことにより、入会を促します。

② 会員の定着への取組み

ローテーション就業やワークシェアリングを進め、未就業会員の解消を進めます。

また、未就業会員への積極的な声掛けを行い、退会会員の減少に努めます。

③ PR 活動の強化

ア シルバー祭りやふれ愛フェスティバル参加等によるシルバー事業 PR、
また桐生市広報や地元紙への記事掲載により市民への PR を図ります。

イ 役職員によるPR活動を行います。

ウ 会員一人ひとりの口コミによる入会希望者並びに就業開拓の PR 活動を進めます。

【就業機会の拡大】

① リピーターの増加

ア 技能講習や接遇研修により顧客満足度を高め、リピーターの増加を図ります。

② 保育・高齢者福祉分野の受注促進

ア 近年需要が増加傾向にある保育・高齢者福祉分野の受注に迅速に対応できるように、経験者や会員の確保に努めます。

③ シルバー派遣事業の推進

ア 群馬県シルバー人材センター連合会と連携をとりながら、スムーズな事業展開ができるよう努めます。

2 安全・適正就業の推進

① 事故ゼロを目指します。

② 安全・適正就業委員会による巡回パトロールを毎月行い、安全対策また就業マナーに対する注意喚起を促します。

③ 「安全就業基準」、「適正就業基準」、「安全・適正就業に関する要綱」に基づき、次の事項を重点課題として、積極的な取り組みを行います。

ア 安全保護具着用の徹底

イ 職群別安全対策の徹底

ウ ワークシェアリングやローテーション就業の実施

エ 公共的かつ継続的な業務における長期継続就業の是正

才 顧客に対する就業マナー並びに会員同士の「共同・共助」の推進

④ 健康管理の推進

安全就業並びに自己の健康管理に向けて、桐生市が実施する「新わたらせ健康診査」等を毎年受診するよう促します。

3 会員資質の向上

① 接遇研修の実施

全会員対象の接遇研修会等を実施し、会員資質の向上に努めます。

また、新入会員研修会における接遇研修の充実を図ります。

② 実技講習会の実施

群馬県シルバー人材センター連合会による講習や、各職群におけるセンター独自の講習会を実施し、会員資質の向上や後継者育成を行います。

4 会員の親睦及び地域貢献

① 毎年10月のシルバー普及啓発促進月間において「シルバーの日」を設け、各地区毎に清掃ボランティア活動を行います。

② 「シルバーさぽーと隊」の充実を進めます。

③ 「シルバー祭り」等により、会員の親睦を図ります。

④ 近隣のみどり市シルバー人材センターとの会員互助会交流グラウンドゴルフ大会を支援し、会員相互の親睦・交流を図ります。

5 経営基盤の強化

① 事務の効率化並びに経費の節減等コスト意識を高め、財政基盤の充実を図るとともに、公益社団法人としての的確な事務処理に努めます。

② 県連合等関係機関の研修会へ積極的に参加し、役職員の資質向上を図ります。

6 第3次中長期事業計画の策定

① 平成31年度からの事業展開に向けた基本的な計画を定める為、総務委員会を中心に策定を進めます。